

名古屋大学大学院工学研究科 物質プロセス工学専攻 物質創成工学講座

エネルギー・環境材料創成工学研究グループ 助教 公募要領

1	募 集 件 名	助教の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	名古屋大学大学院工学研究科 物質プロセス工学専攻 物質創成工学講座 エネルギー・環境材料創成工学 研究グループ	
4	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] （雇入れ直後）本公募では、既存分野にとらわれず、新しい研究領域を自ら切り拓く意欲を持つ若手研究者を広く募集します。本研究グループ（宇佐美・勝部研究室）では、材料プロセスを基軸として、次世代材料・デバイスの創製に関する研究を推進しています。例えば、以下のような研究を推進しています。 ・ 界面・ナノ構造制御による次世代太陽電池の高性能化 ・ 産業廃棄物シリコンのアップサイクルによる機能材料創成 ・ 液体金属を反応場とした新規材料プロセス ・ 多結晶材料情報学に基づく材料組織・プロセス設計 これらに加え、応募者自身の専門性や独創的なアイデアを活かした新しい研究テーマを主体的に展開していただくことを期待します。専門分野は限定せず、材料科学、化学工学、応用物理学、半導体工学、計算材料科学、情報学、計測・分析など、多様なバックグラウンドを有する研究者からの応募を歓迎します。 本研究グループでは、国内外の大学・研究機関・企業との共同研究を積極的に推進しており、NEDO、JST CREST、JST COI-NEXT などの大型研究プロジェクトや国際共同研究を通じて、自身の研究を大きく発展させる機会があります。 教育面では、学部実験、大学院演習、セミナー等を担当し、学生教育にも積極的に携わっていただきます。 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する業務	
		[勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 助教・1名	
		[着任時期] 2027年4月1日	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	ナノテク・材料、ものづくり技術、環境
		小分類	結晶工学、組織制御、界面、電気電子材料工学、環境材料、リサイクル技術
6	勤 務 形 態	常勤（任期付） 契約期間：期間の定めあり（任期5年） 試用期間：あり（採用日から6か月） 任期中の業績、研究の進捗状況等を公正に評価の上、1回に限り再任可。なお、教育・研究の実績及び能力、教員としての資質等を審査し、上位職への昇格が相応しいと認められた場合は、任期中に上位職（任期なし）への登用が可能です。 通算契約期間：東海国立大学機構教員の任期に関する規程の定めるところによる。	

		https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110011019.html
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] 博士の学位を有する方（着任時まで取得見込みを含む）。 次のような方を歓迎します。 ・ 自ら研究を立案・推進し、新しい研究領域を主体的に切り拓く意欲のある方 ・ 自身の専門性を活かして研究グループの共同研究や大型プロジェクトに積極的に参画し、新たな価値の創出に貢献できる方 ・ 異分野との融合研究や新しい研究手法に積極的に挑戦する意欲のある方 ・ 学生教育に熱意を持ち、協調性をもって研究室運営に参画できる方 専門分野は限定しません。異分野からの応募を歓迎します。
8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）] ・ 東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・ 給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110001585.html ・ 専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 ・ 休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・ 加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・ 受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応 募 期 間	2026 年8月 27 日～2026 年 10 月 31 日
10	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法（提出書類の送付先）] 1. 履歴書（形式自由、写真添付、連絡先、E-mail アドレスを明記） 2. 研究業績リスト（査読付き原著学術誌論文、国際会議論文、総説・解説記事、著書、特許、受賞、招待講演等に分類） ※ 責任著者（corresponding author）にアンダーラインを付すこと 3. 主要原著学術誌論文の別刷 3 編以内（PDF） 4. これまでの研究概要（図表込みで A4 で 1 ページ） 5. 教育・研究に対する抱負（図表込みで A4 で 1 ページ） 6. 所属する学会、学会や社会における活動、国際的活動 7. 競争的資金の獲得状況（科研費・各種助成金・共同研究等について、代表者・分担者の別を明記すること。分担者の場合には、候補者本人に配分された分担金の額も別途記載すること。） 8. 応募者に関するコメントを求め得る方 2 名の氏名と連絡先 以上の書類を、1 つの PDF にまとめて応募期間内（必着）に E メールにて提出ください（添付ファイルは 20MB まで）。電子メールの件名は「エネルギー・環境材料創成工学研究グループ 助教応募（応募者氏名）」としてください。なお、受取の確認メール（受領後 1 週間以内に連絡）を必ずご確認ください。 提出先：名古屋大学大学院工学研究科 物質プロセス工学専攻 専攻長 水口 将輝 E-mail: jinji3@material.nagoya-u.ac.jp

		問合せ先：名古屋大学大学院工学研究科 物質プロセス工学専攻 教授 宇佐美 徳隆 E-mail: usami.noritaka.i7@f.mail.nagoya-u.ac.jp
		[選考内容（選考方法、採否の決定）]
		・書類選考の上、面接を実施。 ・適任者がいない場合は、採用を保留することもあります。
11	そ の 他	・名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、採用にあたっては「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンターWeb サイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロッキング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。